



Japan Society of Internship
and Work Integrated Learning

日本インターンシップ学会 NEWS LETTER

2020 年度 No.1

■目次

- ・第 21 回大会を終えて
- ・第 22 回大会開催に向けて
- ・理事会報告
- ・2020 年度総会報告
- ・2019 年度事業報告及び決算報告
- ・2020 年度事業計画及び予算
- ・年報編集委員会報告
- ・広報委員会報告
- ・学会表彰委員会報告
- ・企画研究委員会報告
- ・支部活動報告
(北海道支部、東日本支部、関西支部、九州支部)
- ・《追悼》天谷正先生を偲んで
- ・事務局からのお知らせ
- ・会員情報

第 21 回大会（オンライン）を終えて

2020 年 11 月 22 日（日）、第 21 回大会を、桜美林大学主催によるオンライン形式によって開催いたしました。当初は 8 月末に桜美林大学新宿キャンパスで開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、オンラインによって 1 日に限った開催に変更することを決定し、それに伴って開催時期も 11 月に延期して開催いたしました。このような例年のない形での開催となりましたが、当日は全国から 90 名を超えるご参加をいただき、熱心なご討議をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

大会のテーマは、現状をとらえ、これからのインターンシップの新たな可能性を探ることを目的として、「ワークスタイルの変容下におけるインターンシップ—新型コロナウイルス禍がもたらしたもの—」としました。基調講演は、こうした状況下において先進的な人財活用戦略を遂行されている日本航空株式会社の執行役員・人材部長の小田 卓也氏にお願いし、「社員がイキイキと働ける環境をめざして—日本航空が実践する働き方改革—」と題してお話いただきました。その後、4 つの会場に分かれ、合計 14 件の研究発表が行われ、活発な討論が行われました。

研究発表終了後、2019 年度高良記念研究助成報告として、四天王寺大学の永川 幸子会員に「インターンシップコーディネーターの役割調査、研究」というテーマで発表いただきました。それに続き、2020 年度の高良記念研究助成者が発表され、閉会となりました。

そして、今回は新たな試みとしてオンラインでの懇親会も開催いたしました。こちらにも研究発表者の皆様を始め、会員の皆様に積極的にご参加いただき、楽しく貴重な時間となりました。

開催中はオンライン機能も正常に作動し、問題なくスムーズに大会を終えることができました。大会準備にご尽力いただいた方々、特に多くの時間と労力を割いていただいた東日本支部の先生方には深く感謝申し上げます。

今後、新型コロナウイルス禍が収束し、以前のような社会生活が戻ってきたとしても、今回の新たな試み、経験は色々な形で活かしていけるのではないかと考えます。情報社会の進展、働き方改革の推進の中で、今回の大会がこれからの学会運営の在り方を考える上での一つの視座を与えることになれば幸いです。

最後に次回大会のますますのご盛会を祈念いたします。

(第 21 回大会実行委員会共同委員長

戸崎 肇・桜美林大学/松坂 暢浩・山形大学)

第 22 回大会開催に向けて

2021 年の全国大会（第 22 回大会）の開催については、過日に郵送投票にて行われた 2020 年度総会において、北海道支部の担当として行われることが承認されました。

次年度の開催につきましては、今後の状況を見据えた上で、参加者のみなさまの安全を最優先に検討し、支部や理事会のご意見を伺いながら決定したいと考えております。詳細につきましては学会メーリングリストや、ウェブサイトを通じてお知らせして参ります。なお、開催時期についてはこれまで通りの 8~9 月を検討しております。

全国大会はインターンシップ、職業統合的学習に関する研究活動を促進する重要な場であると考えております。大会の開催に向けて、会員のみなさまには、ご理解・ご協力を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

(北海道支部長 小林 純・札幌国際大学短期大学部)

理事会報告

2019 年度 第 6 回理事会 (2020 年 6 月 14 日 *Web

会議

前回に引き続き、2019-2020年度の体制の確立とともに、第21回全国大会（総会を含む）の開催に向けた具体的な検討を中心としたWeb会議を開催し、4つの議案を審議しました。

また、「年報編集委員会・広報委員会の体制」についての報告がなされました。議事の概要は、次のとおりです。

（議案1）2019年度の体制について

・安孫子理事・古閑理事・吉本理事の副会長就任を決定した。また、常任理事については、会則上必須のものではないことから、当面の間、置かないものとした。

（議案2）学会表彰委員会・企画研究委員会の委員の推薦について

・学会表彰委員会・企画研究委員会の委員については、各支部の推薦に基づき委員を選出するものとし、学会表彰委員会については松坂理事が、企画研究委員会については薬師丸理事が各々取り纏めをおこなうことを決定した。

（議案3）2020年度 高良記念研究助成の募集について

・事務局（代行）より、NEWS LETTER等に掲載する2020年度高良記念研究助成の募集に関わる文書

（案）と申請に係わる書類（案）が示され、承認された。

（議案4）全国大会（総会を含む）の開催について

・第21回全国大会について、①開催日を2020年11月22日とすること、②高良記念研究助成は大会日程の内で実施すること、③総会は大会日程の外で実施することを決定した。

2020年度 第1回理事会（2020年8月8日 *Web会議）

学会表彰委員会・企画研究委員会の組織に関する審議、ならびに、第21回全国大会と開催に向けた準備状況の報告を中心としたWeb会議を開催し、2つの議案を審議しました。加えて、「全国大会の開催」と「総会の開催」についての準備状況等が報告されるとともに、委員会（年報編集委員会）・支部（九州支部）の活動が報告されました。

また、第20回大会でおこなわれた「高良先生追悼講演」に関する提案がなされ、広報委員会でのウェブサイト上での公開を決定しました。議事の概要は、次のとおりです。

（議案1）入退会の審査

・退会願が提出された5名の個人会員と2名の法人会員の退会が認められた。また、3年以上の会費未納者については、各理事で情報を共有し、学会活動の継続を呼びかけるとともに、事務局より会費の納入状況等を文書で知らせた上で、一定の時期が経過した後、自然退会の手続きを進めることを決定した。

（議案2）学会表彰委員会・企画研究委員会の委員の選

出について

・各支部より推薦のあった候補者について審議し、全ての候補者の承認を決定した。

2020年度 第2回理事会（2020年10月3日 *Web会議）

2020年度総会の開催に関する審議、ならびに第21回全国大会の開催に向けた準備状況の報告を中心としたWeb会議を開催し、2つの議案を審議しました。加えて、「全国大会の開催」に関わる準備状況と「高良初代会長追悼記念特集の『NEWS LETTER 特別号』発行」についての報告がなされました。

また、各委員会（学会表彰委員会・企画研究委員会・年報編集委員会）の活動が報告されました。議事の概要は、次のとおりです。

（議案1）入退会の審査

・入会願が提出された2名の個人会員、退会願が提出された3名の個人会員と1名の学生会員の入退会が各々認められた。また、会費未納者への納入のお願いの通知の発送の報告と今後の対応の確認がなされた。

（議案2）2020年度総会の開催について

・10月31日を開催日とする書面による開催が提案され、審議の結果、了承された。なお、議決権の行使は、郵送によるものとした。

2020年度 第3回理事会（2020年11月10日 *書面会議）

第21回全国大会での表彰が予定されている「2020年度高良記念研究助成」に関する審議を中心とした書面会議を開催し、4つの議案を審議しました。併せて、「全国大会の開催」に関わる準備状況と各委員会（企画研究委員会・広報委員会）の活動が報告されました。議事の概要は、次のとおりです。

（議案1）入退会の審査

・入会願が提出された1名の個人会員の入会が認められた。

（議案2）「2020年度高良記念研究助成」について

・学会表彰委員会による審査結果の報告をもとに、2020年度の高良記念研究助成者について審議し、これを決定した。

（議案3）学会表彰委員会の委員の選出について

・関西支部より推薦を受け、学会表彰委員会委員に就任された尾崎 雅彦会員の逝去にとともに、新たに推薦された候補者の就任を承認した。

（議案4）NEWS LETTERの発行について

・NEWS LETTER 2020年度 No.1の発行要領の審議をおこない、これを決定した。

（事務局 山口 圭介・玉川大学）

2020 年度総会報告

新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、2020 年度の第2回理事会における審議にもとづき、2020 年度の総会は、書面による開催となりました。会員の皆さまには、資料の確認、書面議決書の提出など、例年以上にご負担をかけることとなりましたが、お蔭様で全ての議案について、全会一致で承認をいただくことができました。この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

なお、議案ならびに議決結果の詳細につきましては、学会ウェブサイトの「2020 年度 日本インターンシップ 学会総会（書面議決）の結果について」をご参照ください。

（事務局 山口 圭介・玉川大学）

2019 年度事業報告及び決算報告

「総会報告」のとおり、2019 年度事業報告及び決算報告について、総会（書面議決）にて下記のとおり承認されました。

2019 年度事業報告

1. 2019 年度事業期間

・2019 年7月1日～2020 年6月30日

2. 事業の概要

・2019 年8月31日・9月1日 第20回大会開催（会場：近畿大学）
・2019 年8月31日 総会（近畿大学）

3. 理事会

・第1回理事会 2019 年8月10日（近畿大学）
・第2回理事会 2019 年8月31日（近畿大学）
・第3回理事会 2019 年11月23日（文化学園大学）
・第4回理事会 2020 年3月5日（*書面会議）
・第5回理事会 2020 年5月23日（*Web 会議）
・第6回理事会 2020 年6月14日（*Web 会議）

4. 各種委員会およびWG

(1)年報編集委員会

・2019 年6月「インターンシップ研究年報」22号発行（発送は、2020 年7月上旬）

(2)広報委員会

・2019 年12月 NEWS LETTER 2019 No.1 発行
・2020 年6月 NEWS LETTER 2019 No.2 発行
・学会ウェブサイトによる情報発信
・メルマガによる情報配信

(3)高良記念研究助成審査委員会「2019 年度高良記念研究助成」実施

2019 年度は1件応募があり、審査委員会において厳正に審査を行い1名の会員が助成対象となった。

5. 各支部活動

(1)北海道支部

2020 年2月25日 2019 年度支部総会・第1回研究会（札幌国際大学経済センターキャンパス）

(2)東日本支部

2019 年7月21日 2019 年度支部総会・第1回研究会（目白大学）

2019 年12月14日 第2回研究会（山形大学）

(3)関西支部

2019 年12月6日 2019 年度研究会（大学コンソーシアム大阪）

(4)九州支部

2019 年11月1日 2019 年度支部総会・第24回研究会（久留米大学福岡サテライト）

（事務局 山口 圭介・玉川大学）

2019年度 日本インターンシップ学会 収支計算書(案)
(2019年7月1日～2020年6月30日)

【一般会計】

(単位:円)

支出の部	2019年度予算(a)	2019年度決算(b)	予実差異(b-a)	収入の部	2019年度予算(a)	2019年度決算(b)	予実差異(b-a)
事業費	1,600,000	321,117	-1,278,883	会費収入	2,642,000	2,728,000	86,000
(北海道支部活動費)	150,000	0	-150,000	(個人会員)	1,782,000	1,803,000	21,000
(東日本支部活動費)	150,000	3,905	-146,095	(学生会員)	60,000	65,000	5,000
(関西支部活動費)	150,000	150,000	0	(法人・団体会員)	800,000	860,000	60,000
(九州支部活動費)	150,000	6,832	-143,168	事業収入	0	0	0
(大会開催費)	300,000	0	-300,000	(研究会収入)	0	0	0
(年報作成費)	400,000	160,380	-239,620	(書籍・年報等販売収入)	0	0	0
(J-stage移行費)	0	0	0	雑収入	100	0	-100
(記念事業費)	300,000	0	-300,000	(受取利息)	100	0	-100
(役員選挙費)	0	0	0	(その他の収入)	0	0	0
(名簿作成費)	0	0	0	(大会開催費余剰金)	0	0	0
事務管理費	2,038,880	1,273,016	-765,864	(北海道支部余剰金)	0	0	0
(通信費)	200,000	27,714	-172,286	(東日本支部余剰金)	0	0	0
(HP管理費)	38,880	36,060	-2,820	(関西支部余剰金)	0	0	0
(役員・委員等旅費補助)	700,000	184,800	-515,200	(九州支部余剰金)	0	0	0
(業務外部委託費)	1,000,000	1,006,410	6,410				
(その他運営費)	100,000	18,032	-81,968				
積立金(特別会計へ)	200,000	0	-200,000				
寄付金(特別会計へ)	100,000	0	-100,000				
予備費	5,435,114	0	-5,435,114				
次年度繰越金		8,180,884	8,180,884	前年度繰越金	6,731,894	7,047,017	315,123
合計	9,373,994	9,775,017	401,023	合計	9,373,994	9,775,017	401,023
(当該年度事業のみ)	3,938,880	1,594,133	-2,044,747	(当該年度事業のみ)	2,642,100	2,728,000	85,900

【特別会計(高良記念研究助成、槇本記念賞事業)】

(単位:円)

支出の部	2019年度予算(a)	2019年度決算(b)	予実差異(b-a)	収入の部	2019年度予算(a)	2019年度決算(b)	予実差異(b-a)
2019年度研究助成金	200,000	100,000	-100,000	受取利息	50	0	-50
槇本記念賞事業費	100,000	0	-100,000	余剰金	0	0	0
振込手数料	1,000	0	-1,000	その他	0	0	0
予備費	-850	0	850	積立金(一般会計より)	200,000	0	-200,000
				寄付金(一般会計より)	100,000	0	-100,000
次年度繰越金	0	-12,504	-12,504	前年度繰越金	0	87,496	87,496
合計	300,050	87,496	-212,554	合計	300,050	87,496	-212,554

2019年度 貸借対照表兼財産目録(2020.6.30現在)

資産の部		負債・純資産の部	
流動資産	9,302,485	(負債の部)	
手持現金(鳥取大)	0	流動負債	1,134,105
手持現金(九州大)	0	特)未払金	0
預金	9,302,485	未払費用	144,105
郵便振替口座	9,282,485	特)未払費用	0
郵便振替口座(玉川)	20,000	前受金	990,000
未収入金	0	仮受金	0
一)未収入金	0	固定負債	
立替金	0	(純資産の部)	
仮払金	0	剰余金	8,168,380
		(一般会計繰越金)	8,180,884
固定資産	0	(特別会計繰越金)	-12,504
資産合計	9,302,485	負債・純資産合計	9,302,485

(注) 本来は貸借対照表と財産目録を個別作成する必要があるが、財産が僅少のため当面本表にて対応することとする。

2020 年度事業計画及び予算

「総会報告」の通り、2020 年度事業計画及び予算について、総会（書面議決）にて下記の通り承認されました。

(4)NEWSLETTER の発行（年 2 回）及びその他広報活動の充実

(5)「2020 年度 高良記念研究助成」実施

(6)「2020 年度 槇本記念賞」選考の実施

（2019-2020 年度の 2 年間の事例が対象）

（事務局 山口 圭介・玉川大学）

2020 年度事業計画

1. 2020 年度事業期間

2020 年 7 月 1 日～2021 年 6 月 30 日

2. 事業の概要

- (1) 第 21 回大会の開催（オンライン開催）2020 年 11 月 22 日
- (2) 支部研究会の開催（各支部年 2～3 回程度）
- (3) 『インターンシップ研究年報』第 23 号の刊行

2020年度 日本インターンシップ学会 一般会計 予算(案)

一般会計【収入の部】

(単位:円)

大科目	中科目	2020年度予算額	前年度予算額	2019年度実績	2018年度実績	2017年度実績	予算増減
会費収入	小計	2,675,000	2,642,000	2,728,000	2,732,000	2,880,000	33,000
	個人会員(10,000円)	1,840,000	1,782,000	1,803,000	1,797,000	1,845,000	58,000
	学生会員(5,000円)	55,000	60,000	65,000	75,000	75,000	-5,000
	法人・団体会員(20,000円)	780,000	800,000	860,000	860,000	960,000	-20,000
事業収入	小計	0	0	0	0	10,500	0
	研究会収入	0	0	0	0	0	0
	書籍・年報等販売収入	0	0	0	0	10,500	0
雑収入	小計	100	100	0	369,982	369,763	0
	受取利息	100	100	0	0	7	0
	その他の収入	0	0	0	50	140,000	0
	大会開催費余剰金	0	0	0	300,000	0	0
	北海道支部余剰金	0	0	0	69,932	0	0
	東日本支部余剰金	0	0	0	0	64,653	0
	関西支部余剰金	0	0	0	0	0	0
	九州支部余剰金	0	0	0	0	165,103	0
	当期収入合計(A)		2,675,100	2,642,100	2,728,000	3,101,982	3,260,263
前期繰越収支差額		8,180,884	6,731,894	7,047,017	6,731,894	6,915,876	1,448,990
収入合計(B)		10,855,984	9,373,994	9,775,017	9,833,876	10,176,139	1,481,990

一般会計【支出の部】

大科目	中科目	2020年度予算額	前年度予算額	2019年度実績	2018年度実績	2017年度実績	予算増減	
事業費	小計	1,828,000	1,878,000	321,117	1,110,536	1,494,000	-50,000	
	北海道支部活動費	200,000	150,000	0	150,000	150,000	50,000	
	東日本支部活動費	200,000	150,000	3,905	150,000	150,000	50,000	
	関西支部活動費	200,000	150,000	150,000	0	150,000	50,000	
	九州支部活動費	200,000	150,000	6,832	150,000	150,000	50,000	
	大会開催費(大会開催準備費)	300,000	300,000	0	300,000	300,000	0	
	年報作成費	400,000	400,000	160,380	254,880	594,000	0	
	J-stage移行費	228,000	228,000	0	0	0	0	
	記念事業費	50,000	300,000	0	50,850	0	-250,000	
	役員選挙費	50,000	50,000	0	54,806	0	0	
	名簿作成費	0	0	0	0	0	0	
	事務管理費	小計	1,838,880	2,038,880	1,273,016	1,757,904	1,950,245	-200,000
	通信費(郵送料等)	250,000	200,000	27,714	63,982	110,102	50,000	
HP管理費	38,880	38,880	36,060	38,880	38,880	0		
役員・委員等旅費補助	350,000	700,000	184,800	675,000	740,000	-350,000		
業務外部委託費	1,000,000	1,000,000	1,006,410	975,216	1,020,283	0		
その他運営費	200,000	100,000	18,032	4,826	40,980	100,000		
当期支出小計		3,666,880	3,916,880	1,594,133	2,868,440	3,444,245	-250,000	
特別会計へ	積立金	200,000	200,000	0	0	0	0	
	寄付金	100,000	100,000	0	0	0	0	
予備費	予備費	6,889,104	5,157,114	0	0	0	1,731,990	
当期支出合計(C)		10,855,984	9,373,994	1,594,133	2,868,440	3,444,245	1,481,990	
当期収支差額(A)-(C)		-8,180,884	-6,731,894	1,133,867	233,542	-183,982	-1,448,990	
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	0	8,180,884	6,965,436	6,731,894	0	

2020年度 日本インターンシップ学会 特別会計 予算(案)

特別会計【収入の部】

(単位:円)

大科目	中科目	2020年度予算額	前年度予算額	2019年度実績	2018年度実績	2017年度実績	予算増減
寄付金		100,000	100,000	0	0	0	0
積立金	小計	200,000	200,000	0	0	0	0
	一般会計より	200,000	200,000	0	0	0	0
雑収入	小計	50	50	0	0	6	0
	受取利息	50	50	0	0	6	0
	その他の収入	0	0	0	0	0	0
当期収入合計(A)		300,050	300,050	0	0	6	0
前期繰越収支差額		0	0	87,496	187,496	495,149	0
収入合計(B)		300,050	300,050	87,496	187,496	495,155	0

特別会計【支出の部】

大科目	中科目	2020年度予算額	前年度予算額	2019年度実績	2018年度実績	2017年度実績	予算増減
特別事業費	小計	200,000	300,000	100,000	100,000	305,650	-100,000
	高良記念研究助成事業	200,000	200,000	100,000	100,000	200,000	0
	榎本記念賞事業費	0	100,000	0	0	105,650	-100,000
事務管理費	小計	1,000	1,000	0	0	1,512	0
	振込手数料	1,000	1,000	0	0	1,512	0
	その他	0	0	0	0	0	0
予備費	予備費	99,050	-950	-12,504	87,496	497	100,000
当期支出合計(C)		300,050	300,050	87,496	187,496	307,659	0
当期収支差額(A)-(C)		0	0	-87,496	-187,496	-307,653	0
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	0	0	0	187,496	0

2019-2020 年度委員会構成

NEWS LETTER 2019 年度 No.2 において、調整中となっておりました学会表彰委員会と企画研究委員会の構成が決定いたしましたので、ご報告させていただきます。

(五十音順、敬称略)

【学会表彰委員会】

委員長：古閑 博美 (東日本支部)
 副委員長：眞鍋 和博 (九州支部)
 委員：小林 純 (北海道支部)
 松坂 暢浩 (東日本支部)
 松高 政 (関西支部)

【企画研究委員会】

委員長：薬師丸 正二郎 (東日本支部)
 副委員長：高橋 秀幸 (北海道支部)
 委員：高橋 修一郎 (東日本支部)
 岩井 貴美 (関西支部)
 井本 浩之 (九州支部)

(事務局)

した。このNEWS LETTER と相前後し、お手元に届く手筈です。委員会としての時間は限られていましたが、委員一丸となって編集・刊行の業務にあたり、1 篇の研究ノートと大会記録に加えて、特別企画として「研究論文一覧」(第 7 号～第 21 号) を作成し、みなさまの今後の研究論文執筆に向けての参考とさせていただきます。

なお、今期の年報編集委員会は、第 21 号編纂から生じた混乱を収束することを課題として発足しました。2019 年 9 月発送の第 21 号、2020 年 6 月発送の第 22 号と、いずれもお手元に届けるのが大変に遅くなり、過ぎた年度のこととはいえ、年報編集委員会としてこの場をかりてお詫び申し上げます。また、この混乱の過程で第 21 号では、投稿者の一部には、次号投稿〆切までに査読結果が通知されないという不始末があり、さらに掲載されるべき「研究ノート」の区分を誤記した冊子を会員の皆さまに送ってしまいました。関係の方々には、個別に、会長から学会としてのお詫びの連絡をしておりますが、研究年報にかかる不始末につき学会として真摯に対応し、以後の再発防止に努めておりますことを、ここに報告させていただきます。

研究年報第 24 号につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国大会が例年よりも遅れたことなどを踏まえ、論文締切日を **2021 年 2 月 20 日** (土) とさせていただきます。新たな投稿規定では、二重投稿禁止や、研究論文と資料の投稿区分の識別なども加えておりますので、確認のうえ、積極的に寄稿いただきますようお願い申し上げます。

年報編集委員会報告

年報編集委員会は、2020 年 6 月に下記の 6 名の委員による新体制が発足し、第 23 号の編集・刊行を行います。

『インターンシップ研究年報』
第24号研究論文・資料投稿のご案内
ならびに刊行スケジュール

- ・投稿締切日
2021年2月20日(土)(必着)
- ・査読結果通知発送予定
2021年4月中旬～6月中旬
- ・刊行予定
2021年10月下旬

(年報編集委員会委員長 吉本 圭一・
滋慶医療科学大学院大学)

広報委員会報告

学会ウェブサイト・メールマガジン配信について

広報委員会では本学会に寄せられた研究会やセミナー開催案内および教員公募等、会員の皆さまにとって有益な情報を学会ウェブサイトに掲載するほか、随時、メルマガで配信しております。本学会に関連する情報がありましたら、広報委員会までメールでご連絡ください(jsi.pro@gmail.com)。なお、最終的な掲載可否は広報委員会で検討させていただきますのでご了承ください。

会員相互の交流促進について

学会ウェブサイトトップページ左下に「web 会員名簿(検索システム)」があります。こちらのアイコンからご自身の会員IDを用いて会員情報検索ができます。会員相互が研究・教育活動等で交流する際にご活用ください。た

だし、会員情報利用については、個人情報保護に十分留意願います。(例：会員向けに複数のメール等を送信する場合は、「Bcc」等を用いる。メール文に自身が学会員であり、「日本インターンシップ学会『会員検索』システム」に公表いただいているアドレスにご連絡していることを伝えるなど。)

会員情報に変更された場合(メールアドレスや所属など)には、「会員情報照会・更新」アイコンから各自で情報更新をお願いいたします。

(広報委員会委員長 江藤 智佐子・久留米大学)

学会表彰委員会報告

2020年度学会表彰委員会

2020年度より、「高良記念研究助成」は学会表彰委員会が担当いたします。委員は、発足当初、尾崎 雅彦会員、小林 純会員、松坂 暢浩会員、眞鍋 和博会員そして古閑博美の5名でしたが、尾崎 雅彦会員の急逝に伴い、松高政会員が新たに委員として加わりました。

本委員会は、「高良記念研究助成」のほか「楨本記念賞」も担当します。

「高良記念研究助成」はご承知のとおり、高良 和武先生から本学会にご寄付いただいた基金であることを称しています。高良先生は2019年1月30日に御年97歳で亡くなられましたが、お名前を冠した研究助成の主旨に則り、会員の研究環境の充実に努めるのが本委員会の責務と存じております。

末尾ながら、高良 和武先生と尾崎 雅彦会員の御逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。

2020年度(第14回)高良記念研究助成対象者決定報告

2020年度(第14回)「高良記念研究助成」について以下の通りご報告いたします。

本年は2件の応募があり、学会表彰委員会の厳正なる審査のもと、柴田 仁夫会員(岐阜大学)「コロナ禍における中小企業のインターンシップへの対応」の1件が採択され、理事会にて受理され、2020年11月22日に開催された第21回大会において受賞者の発表が行われました。研究成果は2021年度の学会年次大会で発表される予定です。

(学会表彰委員会委員長 古閑 博美・
学校法人練馬みどり学園田柄幼稚園)

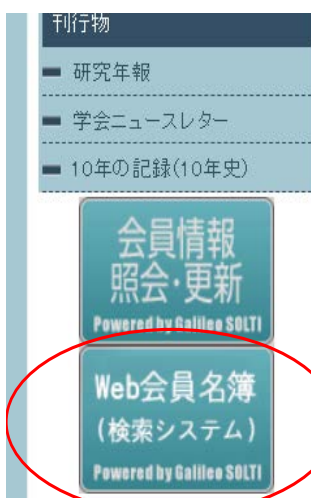
企画研究委員会報告

企画研究委員会は、学会員のさまざまな学術的、実践的な研究活動、特に共同での研究活動を促進するとともに、学会として必要とされる研究活動を企画する委員会です。これまでワーキンググループとして活動していましたが、今年度は委員会となって活動する最初の年です。

委員会のメンバーは、井本 浩之会員、岩井 貴美会員、高橋 修一郎会員、高橋 秀幸会員で構成し、稲永 由紀会員、見舘 好隆会員、古田 克利会員のご協力を頂きながら、オンラインツール(Zoomなど)を用いて、新しい技術などを取り入れながら、全国の会員の皆さまに向けて、セミナーを開催する予定です。

今年度、とくに力を入れている企画は、これまでも実施してきた実践を学術研究・論文作成に結びつけるための論文の書き方に関する講座です。

これまでは支部ごとに開催をしてきましたが、一人で



も多くの会員の皆さまの学術研究活動、特に実践的な活動を研究に結びつける方策として有益な企画であるため、オンライン開催を取り入れ、全国の会員の皆さまに参加して頂けるように企画しております。

新しいメンバーと共に、各支部の意見を取り入れながら、会員の皆さまのニーズに応えられる企画を検討していく所存です。

各種企画の詳細につきましては、学会ウェブサイト等でお知らせしますのでどうぞよろしくお願いいたします。

(企画研究委員会委員長 薬師丸 正二郎・立教大学)

支部活動報告

【北海道支部】

すでにNEWS LETTERでお伝えしておりますが、北海道支部では新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大をふまえ、5月に開催を予定しておりました支部第2回研究会を中止いたしました。

2020年7月より北海道支部は小林 純会員を支部長に、高橋 秀幸会員と原 一将会員を副支部長、5名の会員を運営委員とする新体制へと移行しております。2020年11月には運営委員会議を開催し、今後の支部運営について議論が交わされました。

会議では、(1) コロナ禍における研究会の実施について、感染を防ぐためにZoomをはじめとする遠隔会議システムを用いた研究発表、講演の実施を検討することや、(2) コロナ禍で多くのインターンシップが中止に追い込まれている状況について、情報の提供・収集を中心に学会・支部の社会的役割を果たす活動を検討すること、(3) 会員の研究活動を支部として支援する仕組みを検討すること、などが議題に挙げられました。

2020年度研究会については、来年2~3月ごろと5月ごろの2回を予定しております。会員のみなさまにはメールを通じてお知らせいたします。

(北海道支部 支部長 小林 純・札幌国際大学短期大学部)

【東日本支部】

2020年度第1回支部研究会および支部総会

2020年7月26日（日）、新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえ、初めてのオンライン形式（Zoom）にて研究会並びに支部総会を開催いたしました。オンライン開催ということで、支部長・副支部長・事務局で念入りに事前準備を行い、当日は大きなトラブルなく終えることができました。これも支部役員の皆様および参加者の皆様のご理解とご協力のおかげであると考えております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。今回の参加者は63名で非会員の参加が多く、これまでより多様な方々にご参加いただけました。

今回の研究会は「コロナ禍における新しいインターンシップの可能性と課題」をテーマに、オンライン・インターンシップ取組事例の報告と意見交換を行いました。ミライシップ プログラム開発室室長の野村尚克様、ミライシップ代表の眞野目悠太様より「ミライシップによるオンライン・インターンシップの取組み—目白大学メディア学部の事例を中心に—」と題して取組事例の報告をいただきました。

研究会終了後に開催された支部総会では、2020年度の支部事業の報告と支部決算および監査報告、ならびに2019年度の支部事業計画（案）と支部予算（案）が承認されました。

2020年度第2回支部研究会

第2回研究会は2021年1月に開催を予定しております。今後予定が決まり次第、会員の皆様にご案内をさせていただきます。

(東日本支部 支部長 松坂 暢浩・山形大学)

【関西支部】

関西支部第15回研究会を開催

2020年12月4日（金）、キャンパスポート大阪に於いて、支部研究会を開催しました。大学コンソーシアム大阪に共催していただき、会場やオンラインシステムの提供、そして広報などでお世話になりました。対面とオンラインのハイブリッドで実施し、22名（対面7名、オンライン15名）の参加がありました。東日本支部、北海道支部のほか、インドネシアからの参加者もおられました。

「インターンシップ教学の現場から」をメインテーマに2校の発表がありました。1つ目は、笠原 幸子氏（四天王寺大学キャリアセンター・センター長）と隅田 孝氏（四天王寺大学キャリアセンター・副センター長）から、「四天王寺大学のキャリア教育の取り組み—インターンシップに焦点を当てて—」をテーマに、1年生から始まるキャリア教育の取り組み（一部を必修化）や課題、インターンシップの単位化、インターンシップ専門人材の育成などについて実践的な内容が報告されました。令和2年夏も対面でインターンシップを実施されたとのことでした。



2つ目は、「実践報告：企業とともに作るオンラインインターンシップ」をテーマに、大串 恵太会員（追手門

学院大学) から、企業と大学が協力しリモート型のインターンシップを開発するプロセスについて、詳細な事例を紹介いただきました。

発表後の質疑応答や交流会もハイブリッドで行い、盛況に終えることができました。

(関西支部広報委員 中島美佐穂・流通科学大学)

【九州支部】

2020 年九州支部総会報告

2020 年 7 月 3 日 (金) に 2020 年度九州支部総会をオンライン (Zoom) にて開催しました。議題は次の 4 点でした。(1) 九州支部事業年度と学会事業年度のずれを修正するため、移行期間として 2018~2019 年度支部役員を 1 年延長 (2020 年度まで) し、次の学会年度 (2021~2022 年度) から九州支部と学会の事業・会計年度を統一することが提案され、承認されました。(2) 支部役員に関して、中濱雄一郎会員 (都合により退任) の代わりに渡邊和明会員の選出が承認されました。(3) 会計報告として、九州支部 2019 年度会計報告の後、岡本信弘監事から監査報告がなされ、さらに 2020 年度予算計画が提示され、承認されました。(4) 2019 年度活動報告の後、2020 年度活動計画が提案され、承認されました。(5) 支部研究会の参加費について、オンライン開催の場合は無料とすることが提案され、承認されました。

<2020 年度九州支部役員：敬称略>

支部長 吉本 圭一 (滋慶医療科学大学院大学)

副支部長 古賀 正博 (渉外担当/九州インターンシップ推進協議会)

眞鍋 和博 (企画・広報担当/北九州市立大学)

運営委員 井本 浩之 (西九州大学)

江藤 智佐子 (久留米大学)

安田 麻季代 (4TuneShape 株式会社)

渡邊 和明 (精華女子短期大学)

監事 岡本 信弘 (博多工業高等学校)

事務局 江藤 智佐子 (事務局長)、酒井 佳世、小嶋 紀博

第 25 回研究会開催報告

支部総会の後、同日 (2020 年 7 月 3 日) に『情報交換会：コロナ時代のインターンシップ・就職活動の現在と未来』と題するテーマで第 25 回支部研究会を開催しました。支部研究会では初のオンライン (Zoom) 開催となりました。吉本 圭一支部長 (九州大学・名誉教授) から開会挨拶・趣旨説明が行われた後、話題提供者として高橋 康德氏 (株式会社カウテレビジョン・代表取締役) が企業の立場から、眞鍋 和博会員 (北九州市立大学・教授) と出雲有紗氏 (北九州市立大学・4 年生) が学校の立場から、そして古賀 正博会員 (九州インターンシップ推進協議会・専務理事) が仲介組織の立場からと、各々の立場におけるコロナ禍中でのインターンシップや採用・就職活動の現状と課題、今後の可能性、そしてオンラインツールを用いたインターンシップ事例などが紹介されました。これら 4

名の登壇者による話題提供を受け、後半は 15 グループに分かれての参加者相互のグループワーク (ブレイクアウトルームセッション) が行われました。登壇者もグループ間を巡回し、各グループで活発な意見交換がなされました。

総括討論では、司会の安田 麻季代会員 (4TuneShape 株式会社・代表取締役) が 3 グループを指名し、各グループでの話し合いの結果が共有されました。研究会後、懇談会と称して Zoom オンライン会場を 30 分延長解放したところ、50 名程度の参加者が残り、登壇者への質問・議論などが熱心に行われました。

定員を上回る 82 名が参加し、その内訳は約半数が非会員かつ所属エリアも北海道から沖縄まで幅広い参加者が集う研究会となりました。また、研究会の実施前に 2 回 (6 月 26 日と 7 月 2 日) の初心者向け Zoom 操作練習会を開催したことで、オンライン研究会参加に対する不安が解消され、当日の出席率も高くなりました。

研究会の参加者アンケートでは 91.0% (回答者数 56 名) の高い満足を得ることができました。登壇者 4 名のリアルで解りやすく魅力的な話題提供はもちろんです。オンライン開催の裏方として会合準備とホストを担当した事務局長の江藤 智佐子会員 (久留米大学) を始め、司会者や登壇者も含めた 9 名で運営を担当したこともオンライン研究会開催の盛況につながったものと考えられます。また、質疑応答が短い、グループワークの時間が短いなど対面とは異なるオンラインならではの時間配分に対する意見が課題として挙げられましたので、次回以後の研究会での改善につなげていきたいと思っております。多くの参加者のインターンシップや教育に対する熱意に支えられた研究会となりました。

(九州支部広報委員 安田 麻季代・4TuneShape 株式会社)

《追悼》天谷 正先生を偲んで

天谷 正先生が、2020 年 6 月 9 日に満 95 歳で永眠されました。先生は、企業での人材育成システムにかかる実務経験をへて大学での教育研究の活動に入れ、1977 年の著書『労務管理概論』はじめ、人材育成、進路指導・キャリア教育の領域での教育研究に寄与されました。特に 1998 年から 2002 年まで青森大学長として大学運営を指揮され、その後も日本文理大学の教員として後輩の指導にあたってられました。

本学会においては、草創期からのメンバーであり、1999 年発足時から 2008 年度まで理事として、また 2009 年度からは顧問として、本学会の運営に一貫して多大な貢献をいただきました。理事会には毎回のよう出席され、おだやかに皆が納得できる意見を述べられるのが常でした。近年はご都合があわないことも多くありましたが、必ず一言近況が添えられた出欠連絡をいただいていた。過去の研究年報を振り返ってみると、『インターンシップ研究年報』の研究ノートの『「インターンシップ推進のための調査研究委員会報告書」の概要』(第 10 号 pp.32-36) を執筆されたのは、2007 年、天谷先生が 82 歳の時でし

た。若輩の学ぶべき研究者の姿を見せていただきました。お会いできた時は、「ねえ吉本先生、こういう文章を書きましたのでね、読んでください。」といつも丁寧に抜き取りをお贈りいただき、都度都度にさまざまなテーマに取り組み、それぞれに成果を出しておられました。真摯で謙虚な、生涯にわたる研究者・教育者であり、本学会の誰もが尊敬してやまぬ先生でした。

この6月にご親族から先生の訃報葉書をいただき、先生がご自身で準備されていた「感謝の言葉」に触れました。95歳で天寿を全うされる、そのところにまで気を配られていた先生の人となりに、あらためて魅了されました。また、この言葉は学界への感謝でもあり、ニュースレターで本学会の会員の皆さんと共有したいと思い、文章をそのまま掲載させていただきます。

永い間ご厚誼を賜り有り難うございました。

私は95年の長い人生の中で、様々な仕事を経験してまいりましたが、新しい仕事に就きました際に、それ以前の経験が色々役に立っていたことは大変嬉しいことでした。

企業で働いておりました時、非常に優れた経営者の部下育成のプロジェクトの一部を、人材育成のスタッフとしてお手伝いさせて頂き、多くのことを学ばせて頂きました。このことはその後の人生に大きくプラスになりました。特に、後年大学学長に就任した際、それを現場に反映することができたのも、この経験あってこそのごさうございました。

そうした経験をもとに、晩年は「大学のマネジメント」を研究の中心テーマとして考えてまいりました。

神様が人生の最後まで研究生活を送ることができるよう配慮してくださいましたことを深く、深く感謝致しております。

永い間お世話になり本当に有り難うございました。改めて、厚く御礼申し上げます。

天谷 正

天谷先生、長きにわたるご指導ありがとうございました。安らかにお眠りください。

(副会長 吉本 圭一・滋慶医療科学大学院大学)

事務局からのお知らせ

2020年度会費納入のお願い

2020年度の会費納入につきまして、会員の皆さまにご送付させていただきました。2020年度(2020年7月から2021年6月)分の会費につきましては、次の口座にお振込みいただきますようよろしくお願い申し上げます。

納入先

郵便口座：02750-1-108419

口座名義(「加入者名」の欄)：

日本インターンシップ学会

ゆうちょ銀行 口座番号：

店番：279(当座)108419

口座名義：日本インターンシップ学会

***振込にかかる手数料等は各自でご負担ください。**

なお、学会誌『インターンシップ研究年報』につきましては、前年度の会費納入が確認された会員および当該年度の**新入会員に郵送**させていただいております(本年度2020年度の研究年報第23号であれば、2019年度会費を納入した会員、および2020年度の新入会員)。事務局体制を移行し、過年度分の研究年報についても配布漏れがないことを確認しておきたいと考えておりますので、行き違い等がございましたら、年報編集委員会のアドレス(jsi-bec@js-internship.jp 担当：山口)まで、お手数ですがメールにてご一報ください。

会員情報変更の連絡について

会員情報の修正が必要な場合は、学会ウェブサイトへアクセスの上、システム(SOLTI:会員情報照会・更新)にログインし、各自で修正を行ってください。

(事務局 山口 圭介・玉川大学)

訃報

本学会関西支部運営委員の尾崎 雅彦会員が2020年9月21日に急逝されました。

創設時のメンバーで、顧問である天谷 正会員が2020年6月9日に逝去されました。

ここに生前のご功績を偲び、謹んでご通知申し上げます。

日本インターンシップ学会 NEWS LETTER 2020 No.1

発行日：2020（令和2）年12月21日

発行：日本インターンシップ学会

会長 折戸 晴雄

編集：日本インターンシップ学会広報委員会

委員長 江藤 智佐子

e-mail：jsi.prc@gmail.com

印刷：日本インターンシップ学会事務局

事務局長 山口 圭介

e-mail：jsi-sec@js-internship.jp